



大田原市ののさき学園グランドデザイン(薄葉小・石上小・野崎中)

…「さすが 野崎 このさき 野崎」…

2023版



学園スローガン

夢・和・絆

【地域の願い】

- 地域の実態に即し、9年間を見通した継続性のある教育を願う!
- 心豊かで、地域を愛する子どもたちの育成を願う!
- 学校と連携・協働して子どもを支え、地域を創生させたい!

【教育目標】

『知』…よく考える子
『徳』…心豊かな子
『体』…たくましい子

【目指す児童・生徒像】

- ・学習習慣を身に付け、学力向上に励む児童・生徒
- ・郷土を愛し、思いやりの心をもって行動する児童・生徒
- ・心身を鍛え、夢や希望に向かって努力する児童・生徒

学校像 「感動・感化に満ちあふれた学校」

子ども像 「豊かに学び感動できる子」

教師像 「子どもの力を引き出す教師」

系統的なキャリア教育による夢の実現!

～ 9年間を見通した効果的な指導や 系統的なカリキュラムの編成による生きる力の育成 ～

1年・2年・3年・4年

前期【基礎期】 「学級担任制」

- 「自己有用感」や上級生への憧れの気持ちの醸成
- 知：学習規律の定着と基礎・基本的な事項の習熟
- 徳：自他を尊重する心と規範意識の醸成
- 体：基本的生活習慣の定着と運動への意識の向上
- 々：係や当番の活動を重視（態度の育成）

ICT活用ビジョン入門期 【見て慣れる】【使ってみる】

基本的な操作を身に付ける
集団での学びにおける活用

5年・6年・7年

★ 中期【活用・定着期】 「一部教科担任制」

- 「自己有用感」や社会性の育成
- 知：知識を活用し、論理的な思考力を育成
- 徳：自分で考え、判断し、行動できる能力の育成
- 体：望ましい運動習慣と生活習慣の確立
- 々：生活等と関連付けた学びや体験活動の推進

ICT活用ビジョン習熟期 【一人でも・家でも使いこなす】

ICTの利点と欠点を知る
効果的な活用法を知り主体的に使う

8年・9年

後期【発展・充実期】 「教科担任制」

- 上級生としての自覚の高揚、社会適応力の育成
- 知：言語活動を活用した「課題探究力」の育成
- 徳：下級生の模範となる高い意識と実践力の育成
- 体：自分の課題を自覚し、改善する能力を育成
- 々：進路や職業を考えた自己実現《自分を生かす》

ICT活用ビジョン活用期 【自在に活用し表現する】

資料を自在に操り、表現力を高める
将来設計に基づいた主体的な学習への活用

《指導のポイント》

- ◇ 主体的・対話的で深い学び（観点①～③）
- ①「知識・技能」 ②「思考力・判断力・表現力等」
- ③「学びに向かう力・人間性等」
- ◇ 生活の規律を大切に! ◇ ICTの効果的な活用!

《教育活動を支える基盤》※社会に開かれた教育課程

- ◇ コミュニティ・スクール「のさき学園学校運営協議会」：熟議等
- ◇ 「三校連絡協議会」：地域と学校の連携による子どもの育成
- ◇ 地域人材の効果的活用(育成・確保・質の向上等)
- ◇ 地域連携教員・地域学校協働活動推進員

社会で生きる ICTの活用

2023年度 ののさき学園（薄葉小・石上小・野崎中）の主な指導別の目標及び活動

学力向上部会

- 思考力・判断力・表現力を育成する
- ・基礎基本の定着(ののさきタイム・学習強化週間)
- ・学び合いの推進 (ICT機器の活用)
- ・英語教育の充実
- ・学力向上対策の検討 (分析・乗り入れ授業)

生きる力部会

- 規範意識や自己有用感を醸成する
- ・あいさつの励行と開始時刻1分前完了の推進
- ・コミュニケーション能力の育成と共生社会の実現
- ・判断力と主体性の育成(生命尊重・ボランティア)
- ・夢や希望をもたせるキャリア教育の推進

健康増進部会

- 望ましい生活習慣を育成する
- ・生活リズムの確立(早寝早起き朝ごはん運動)
- ・食育の推進 (バランス良い食習慣の形成)
- ・体力の向上 (継続的な取組の実施)
- ・安全な生活の実践(自分の身を自分で守る)

